



五 垂 の 泉

校長 加藤 ゆかり

山形市立第二中学校 学校だより 令和7年12月23日 第8号

三者面談(通知表配付)へのご協力ありがとうございました。

11月28日(金)からの約1週間で、学級担任との三者面談を実施いたしました。2学期までの一人一人の成長を振り返ると共に、冬休みおよび年度末までの学習や生活について、どのような目標で、どのような気持ちで過ごしていくのか、生徒のみなさんが自分の言葉で語る時間となりました。

また、保護者の皆様よりご家庭での様子をうかがうとともに、各学級担任より、一人一人の学習面・生活面の頑張りと活躍についてお伝えする場とさせていただきました。

この面談を進級・進学に向けての目標を立てるきっかけとして活用し、冬休みを待たずに行動や発言に良い変化を見せている生徒も少なくありません。保護者の皆様、お忙しい中、また寒い中、お時間をいただきありがとうございました。



本日、今年度最も長い2学期(81日間、3年生は82日間)の終業式を迎えました。8月末に猛暑の中でスタートし、熱中症に注意しながら市中新人体育大会や体育祭に取り組みました。同時並行で取り組んだ生徒会役員選挙と文化祭も、例年とは違うスタイルとなった部分もありましたが、充実したものになりました。熊の出没情報に左右されながらも多くの行事に取り組んでいる間に、冬が訪れ寒さを感じるようになりました。

この期間、3年生は、「二中生として最後」となる瞬間をかみしめながら各活動に全力で取り組み、1・2年生に本気の横顔や大きな背中を見せてくれました。また、自分の進路を考え、地道な努力を重ねています。2年生は、様々な取り組みが重なり特に忙しい時期となりましたが、先輩の姿を目に焼き付けながら、伝統を引き継ぐとともに「二中の未来」を考え、自分たちの思いを込めて動き出しました。1年生は、小学校とは違う先輩方の迫力や気力に驚きながらも、中学生らしい取り組みとはどのようなものかを考えて行動しました。

明日からは、約2週間の年末年始休業となります。普段はできないことに挑戦したり、三者面談で心に決めた目標に近づく努力をしたりし、自分にプラスになる時間を積み重ねられることを願っています。そして、あと一週間で2025年が幕を閉じます。一年間頑張った自分を褒められること、課題として残ったことをもう一度整理し、新しい年を迎える準備をしましょう。

二中の活躍

今年度の二中の取り組みや活躍を称える賞をいただきました。

東北電力第51回中学生作文コンクール 学校賞

第54回山形県児童生徒作曲コンクール 優秀学校賞(山形県音楽教育連盟賞)

また、一学級一新聞事業で各クラスに提供されている「山形新聞」の『少年少女の声』に、12月10日から、二中生の意見が複数掲載されています。2年生が、国語の授業で取り組んだ意見文をタブレットから投稿したものです。今後も掲載される可能性がありますので、注目してみてください。

社会人講話から「グッドサイクル」が回り始めました。



11月27日（木）に社会人講話を開催しました。講師は、新庄市在住でソーシャルデザイナーの吉野優美さんです。「できないがあるから、誰かとつながれる」と題して、ご自身の様々な取り組みを紹介くださいました。その中に、一人でできたものはないと語る吉野さんは、とても前向きで、何でも一人で頑張るのではなく、仲間を見つけて前に進むことが大切だと教えてくださいました。

ダニエル・キムさんが提唱した「グッドサイクル」について紹介くださいました。その中で、「関係」「思考」「行動」「結果」の質のうち、「関係の質」を大切にすると良い循環が生まれ、「結果の質」にこだわりすぎるとバッドサイクルになりやすいことを学びました。感想をいくつか紹介します。

学校の先生とは別の立場で社会に貢献している方のお話を聞くのは新鮮だった。自己紹介で「やりたいことをやりまくっている」というのがとても格好いいと思った。(1年男子)

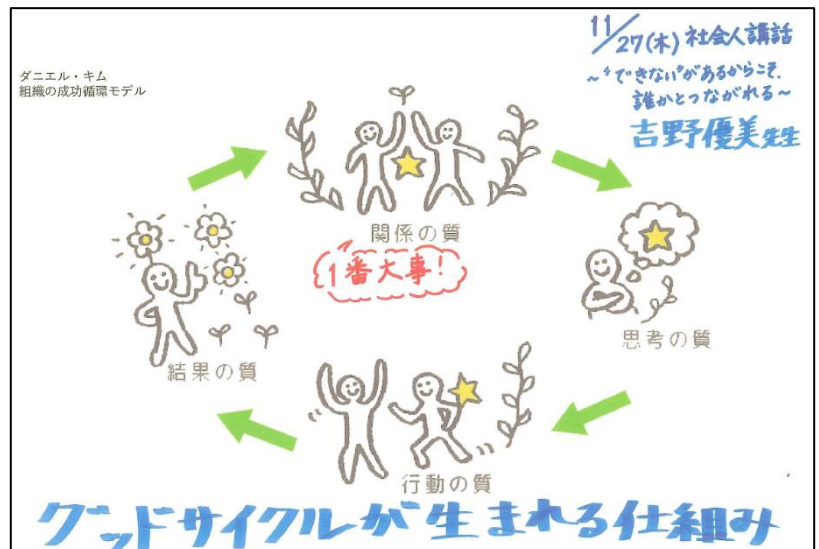
結果を優先すると関係が崩れて助けてくれる人もいなくなると考えた。吉野さんのように関係を優先して過ごすと、人が集まってくるのかなと気づいたので実践したい。(1年女子)

吉野さんは何事も「他人事」ではなく「自分事」と考えているのがすごいと思う。まず、「自分だったら…」と考えてみるのが良い方法なのかなと思った。(1年男子)



これまでは結果を重視して落ち込んだり自信を無くしたりしていたが、関係の質を重視すれば、結果が全てではないと考えることができた。(2年男子)

「笑って生きよう」という言葉が印象に残った。私はネガティブで無理だと思うことが多いが、失敗しても課題を通して仲間ができるのだから、怖がらずに笑ってチャレンジしてみようと思った。(2年女子)



ダニエル・キム「組織の成功循環モデル」 絵：吉野優美さん

初めから「無理」と言わないことが大切だと実感できた。「できない」とあきらめるのではなく、何をしたら「できる」のかをよく考えて行動していこうと思う。(2年女子)

人との関わり方についてこんなに話してくれる方は初めてで面白かった。一人で考え続けるより人に話してみると、意外に協力してくれる人や同じ思いの人がいるとわかった。(3年男子)

挑戦することが怖くて、初めの一步をすごく大きなものに感じてしまうが、「大きく捉えずぎていたかな」「誰かに話してみようかな」という気持ちが出てきて、人生の方向性が少し変わったような感じがした。(3年女子)

「自分ができるとみんなのやりたいことは意外とマッチしている」という言葉が印象に残った。「できないかも」となりがちだった私にもできることはたくさんあると気づけた。(3年女子)



吉野さんの飾らない人柄に引き込まれるように聞き入っていた全校生からは、講演後、次々と悩みや質問が上がりました。先日、吉野さんに全員分の感想をお届けしたところ、「関係の質が上がった」と喜んでくださいました。二中全体でも、更にグッドサイクルを回していきましょう。

いのちの学習 《1 年生》

12月10日（水）に、1年生対象に「いのちの学習講話」を実施しました。講師は、ごつと助産院の院長 後藤敬子先生です。毎年、この時期に二中にお越しいただいています。今年も、たくさんの資料を示しながら、体のつくりはもちろん、妊娠してから赤ちゃんが生まれるまでの10か月を丁寧にたどり、その時々赤ちゃんの大きさや状態、ご両親の役割や思いなどを解説してくださいました。

「心にばんそうこうを」という言葉が心に残っている。学校で嫌なことがあったら、親にあたってしまうことがあった。そんな時でも父や母は、優しく私の話を聞いてくれて、これからのことについてアドバイスをくれたし、生活を支えてくれている。

また、妊婦さんが生活するのはどれほど大変なのかがわかった。もし、妊婦さんにあったら、声をかけたりできるようになりたいと思った。（1年女子）



赤ちゃんは、子宮の中で呼吸や食べる練習をしないと、生まれた時に息もできないと知った。

私は生まれた時の体重が4000グラムを超えていたの
で、お母さんがどれだけ自分を産むのに大変な思いをした
のかを知ることができた。思春期真っただ中の私には難し
いことだが、感謝の気持ちを伝えたいと思った。また、お母
さんを笑顔にできたらいいなと思った。（1年男子）

命の大切さや親のありがたさがわかった。僕は最近、親に
反抗しているけど、今日の話で生れるまでにたくさんの苦労
があったことを知ったので、反抗するのもしんどいと思い
ました。思春期の心は傷つきやすいことも知ることができ
て良かった。（1年男子）

お話を聞いて「自分は沢山の人から気にかけてもらっ
て生きてきたんだ」と気づかされた。特にお母さんは私が
生まれる前から覚悟を決めて心配や苦しみを乗り越えて
産んでくれたこと、今でも大切に育ててくれていることを
考えると、当たり前みたいに毎日を過ごしているのは違
うと感じた。自分を見つめ直そうと思う。

思春期だからか、最近素直に「ありがとう」や「ごめんな
さい」を言えないことが増えている。改めて、両親に感謝
の気持ちがわいてきた。今は恥ずかしくて「産んでくれて
ありがとう」とは言えないが、心の中ではしっかりと感謝
していることを伝えたいと思った。（1年女子）

きちんと知識をもって行動すべき体の仕組みや一つの命が産まれるまでの苦労を知り、自分と周りの人の命と心を守ることの大切さに気付けた生徒が多くいたようで嬉しく思っています。言動を大きく変えることはできなくても、心の中で、また、ちょっとした場面で感謝の気持ちをもって動けるといいですね。

食育講話 《3年生》

3年生は同日、山形市の栄養教諭安部遥香先生を講師にお迎えし、食育講話を実施しました。冬の寒い時期に体調万全で受験に挑むために、食事や睡眠をどのように工夫すると良いのか、クイズを交えながらお話しいただきました。「昨日何時に寝ましたか？」の質問では、夜中まで起きている人がいることも判明しました。寝ている間に記憶が定着するという情報も得たので、これまでと同じでは戦いに挑む準備が整わないことにも気付きました。

受験は団体戦とも言われます。冬休みを利用して、自分の生活リズムや食事を見直し、受験当日には最高のパフォーマンスを発揮できるよう準備を進めていきましょう。



後期生徒会

リーダー研修会

11月10日（月）に発足した後期生徒会。リーダー研修会を実施しながら、リーダーとしての心構えや活動の検討を重ねています。11月18日（火）には、執行部と各学級の評議委員を対象として、校長先生より「リーダーに期待すること」の講話をいただきました。「信頼」「行動力」「誠実」などのキーワードをもとに、リーダーの資質・能力について、意見を交流しながら迫りました。19日（水）には、執行部メンバーが、「二中の現状と課題」や「課題を克服するための対策（3学期に向けて）」の討議を行いました。



11月29日（土）には、新執行部の4名が青少年赤十字のリーダーシップ研修会に参加しました。オンラインで、県内の多くの学校と学校紹介や意見交換を行い、これからの生徒会活動のヒントを得ることができました。

青少年赤十字の態度目標は「気づき・考え・実行する」で、今年度の二中のキーワード「考える」が真ん中にあります。この理念や他の中学校の取組みをヒントにしながら、これからの二中に必要な活動を検討していきましょう。

また、12月22日（月）には、まちづくりファシリテーターの稲村理沙様をお迎えして、「話し合いをうまく進めるための方法」について研修を行いました。これから繰り返しやってくる話し合いの場面で、今回の学びを活かしていきましょう。



リーダーの皆さんが、二中のことを真剣に考えてくれていることを嬉しく思います。今後、学級や学年、委員会などの活動場面で、それぞれのリーダーが研修会での学びを行動に移してしてくれることを願っています。また、リーダーを支えるフォロワーの存在も大切です。お互いにリードしたりフォローしたりし合える関係が広がると素敵ですね。

ちょこボラ
ありがとうございます！



12月4日（木）の朝、今年初めて校舎前に雪が積まりました。すると、早く登校していた生徒数名が誰から言われたでもなく、昇降口前の雪を掃いてくれています。

みんなの事を考えた行動に心が温くなりました。ありがとうございます。まさに「貢献」ですね。

◆ご協力ありがとうございました◆

12月5日（金）～12月14日（日）の期間で、今年度の学校評価アンケートへのご協力をお願いしておりました。保護者の皆様、お忙しいなか、ご協力いただきありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき、令和7年を無事に終えることができます。皆様の本校教育活動へのご理解とご支援に心より感謝申しあげます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

皆様、良いお年をお迎えください。